

あいのう フェス

3.12 Sat. - 13 Sun.

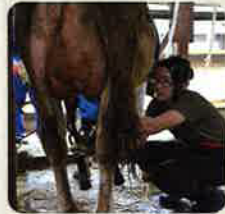
会場 愛農学園農業高等学校

雨天決行・荒天中止

入場
無料

たくさんの方が気軽に農業や食に触れられる2日間の「あいのうフェス」を開催します。愛農に関わる人たちが持ち寄り【人・モノ・想い】が集まります。どなたでもお越しください！

Chef



おかだ かほり
岡田桂織さん

三重県生まれ。20代から環境保護運動に関わり、食と農の大切さを知る。30歳を機にオーガニックレストラン『月の庭』（現在は閉店）をオープン。並行して穀物菜食料理教室『桂樹庵』を各地で展開している。作る料理は基本穀物菜食だが、野菜食系雑食人。「こだわられるけれど、囚われない！」を信条に、呼ばれればどこにでも飛んで行くという独特のスタイルを貫く。

<http://tukinoniwa.jimdo.com/>

すみだ まほ
角田真秀さん

料理研究家。東京・九段下で飲食業を営む父母の元に育つ。販売業を経験したのち、料理の世界へ。カフェ勤務、実家での修業を経て独立。現在、ご主人とともにフードユニット「すみや」として活動している。季節の素材や伝統的な調味料を大切に、“おなかの中から楽しくなる”料理がモットー。ケータリングやイベント出店、レシピ提供、料理教室など活動は多岐にわたる。著書に『基本調味料だけで作る毎日の献立とおかず』（マイナビ出版）。



Cooking ログハウス

愛農食材を使った
料理教室

12日(土) 15~17時
おひとり 3,500円

要予約

岡田桂織さんと角田真秀さんを講師に迎えて料理教室を開催！食材には、愛農高校生が育てた農産物を使います。

▶ 料理教室へのお申し込みは
特設 HP または お電話で受付ています

あいのう 青空レストラン

13日(日) 11~14時
1食 1,000円

限定
200食

プロデュースは料理教室桂樹庵の岡田桂織さんと料理研究家の角田真秀さん。愛農の食材を使い、13日限定オープンです！

マルシェ

校舎前庭

愛農会に関わる生産者をはじめ、各地域の生産者やクリエイターたち約50ブースが集まるマルシェです。様々な取り組みや愛農運動に触れることもできます。

愛農ファミリーコーナー ~土を愛する愛農魂~

愛農会に深い関わりを持つ生産者のコーナー。“これぞ愛農”と感じてもらえる生産者紹介や活動紹介、農産物や商品の展示販売を行います。

ローカルコーナー ~一人一人の活動が原点~

愛農会の活動を支える人たち、応援団、そして各地域で活動する生産者やクリエイターのコーナーです。人と人のつながりを感じてください。

食の見本市 ~命の基本は食べ物から~

調味料から加工食品まで、全国から食の基盤を支えるこだわりの食材を取りそろえます。食べ物のあれこれを学ぶ機会にもなります。

特別企画

校舎前庭

愛農高校在校生による 学園ツアー 要予約

現役の愛農高校生が愛農高校をご案内。農場での学びや日々の暮らしをご紹介します。

タイムスケジュール

3/12(土)	11:00~	15:00~	~17:00
	あいのうフェス マルシェ	料理教室	学園ツアー
3/13(日)	9:00~	11:00~	13:00
	あいのうフェス マルシェ	青空レストラン	学園ツアー

公益社団法人全国愛農会 土と命を守る担い手の育成や有機農産物の流通促進(有機食品の検査認証など)を行っている公益社団法人です。全国で唯一の私立農業高校「愛農学園農業高等学校」を1963年に設立し支援を行っています。また国内だけでなく、世界の農民との連携を進めており、現在は持続可能な農とアジア農村の発展を目指す「アジア農民の会(AFA)」の議長も務めています。

お問い合わせ
お申し込み

特設 HP www.aino70.com

TEL 0595-52-0108

月-金 8:30~17:00 (土:~12:30)

〒518-0221 三重県伊賀市別府 690-1

FAX. 0595-52-0109

メール honbu@ainou.or.jp

公益社団法人
全国愛農会

会場

愛農学園農業高等学校

〒518-0221 三重県伊賀市別府 690

電車をご利用の場合 近鉄大阪線「青山町」駅下車 徒歩15分
駐車場には限りがありますので、公共交通機関のご利用にご協力ください。

運営への協賛・ご協力をお願いいたします。

各イベントの詳細・天候による開催情報についてはHPをご覧ください。



あいのう シンポジウム

3. 12 Sat. - 13 Sun.

千年続く
村づくり
それでも
私たちは種をまく

あいのうシンポジウム

基調講演・分科会 3,000円 全日程 18,000円(懇親会・宿泊代込)

基調講演と分科会を通して、千年続く村づくりを考えるシンポジウム

「全国愛農会」は2016年に70周年を迎えます。

これまでを振り返り、これからの村づくりを考えるために、農業・食・暮らしの実践者たちが集まります。三重県伊賀の地へ、どなたでもお越し下さい。

基調講演

青山ホール

愛農会をよく知る二人の講師による
社会の現状を踏まえたうえで期待される愛農会の役割や価値についての講演です。



山下 悠一 農民作家

わが国の農業のあり方を考え、提唱する農民作家。中学卒業以降、農業に従事。農作業の傍ら自らの暮らしに根ざした小説や農業問題をテーマにしたルポを数多く発表。1969年小説『海鳴り』で日本農民文学賞を受賞。「アジア農民交流センター」「TPPに反対する人々の運動」の共同代表。



赤池 学 ユニバーサルデザイン総合研究所所長

「生命地域主義」「千年持続学」「自然に学ぶものづくり」を提唱し、地域の資源、技術、人材を活用した数多くのものづくりプロジェクトにも参画。科学技術ジャーナリストとして、製造業技術、科学哲学分野を中心とした執筆、評論、講演活動にも取り組んでいる。

分科会

青山ホール&愛農学園

7分科会の中からお申し込みいただけます。
分科会の詳しい内容は、ホームページをご覧ください。

<p>1 愛農運動の魅力とは何でしょうか 報告：藤原明生(百姓・愛農会理事) 堀田新吾(百姓・愛農会理事)</p> <p>自身の信条を踏まえた営農についての報告</p>	<p>2 愛農で育てる10年先の人と夢 報告：村上真平(農民・愛農会副会長)</p> <p>わが子に与えたい教育の理想とは</p>	<p>3 次の世代に引き継ぐ農業 報告：婦木克則(百姓)</p> <p>先祖代々の畑を耕し続けるということ</p>
<p>4 共に生きる持続的な流通とは 報告：前田順(愛農流通センター取締役) ほか3名</p> <p>農家で作った流通組織が取り組む6次産業とは</p>	<p>5 未来につなぐ農業国際交流とは 報告：朱亨魯(韓国正農会会長) エステル.P(AFA事務局長)</p> <p>世界の農業・農村の現状報告と課題</p>	<p>6 暮らしから始める平和な社会の作り方 報告：アーサー・ピナード(詩人・俳人)</p> <p>暮らしの中で平和を発信していく方法を学ぶ</p>
<p>7 若がえった限界集落の仲間づくり 報告：霜尾共造(百姓・愛農会理事)</p> <p>山奥の私のむらを若返らせた愛農精神とは</p>	<p>愛農会がめざすものはなにか、改めて問いかけ、学び、主体性を持って考え発信していくことをめざします。農業をベースに衣食住を持続的なものにしていかなければ世界はいずれ滅ぶということを共有しつつ、当面している課題にどう向き合うか、具体的な事例に学び、参加者のみなさんと共に考えアクションを起こしていくことをめざします。</p>	

懇親会

会場：ホテルローザブランカ(三重県伊賀市寺脇721) 参加費 5,000円

愛農食材を使った料理も楽しめます。

同会場ホテルローザブランカにて宿泊手配も可能です。宿泊の内容についての詳細は事務局へご連絡ください。

3/12	12:00~	12:30~	14:30~	18:30~	13	7:00~	8:00~	9:30~	11:00~
	開会式	基調講演	分科会	懇親会		早朝講話	朝食	どんな種をまくのかWS (分科会総括)	閉会式

お問い合わせ・お申し込み

公益社団法人 全国愛農会

特設ホームページ

www.aino70.com

電話番号

0595-52-0108

HPに申し込みフォームがございます。お電話でも申し込みできます。

三重県伊賀市別府690-1 月-金 8:30~17:00(土:~12:30)

FAX.0595-52-0109 メール honbu@ainou.or.jp

会場

● 青山ホール

三重県伊賀市阿保1411-1

● 愛農学園

三重県伊賀市別府690



※懇親会の会場は近隣の「ホテルローザブランカ」です。